

絵図・地図などからみた水辺

～開府以前の自然的景観を求めて～

松江市史 絵図・地図部会長 大矢幸雄

1、風土記時代(8世紀)から江戸時代初期(1600年頃)

にかけて変化が大きい場所はどこか。

① 河口・海岸付近など堆積・浸食作用の大きい場所で変化

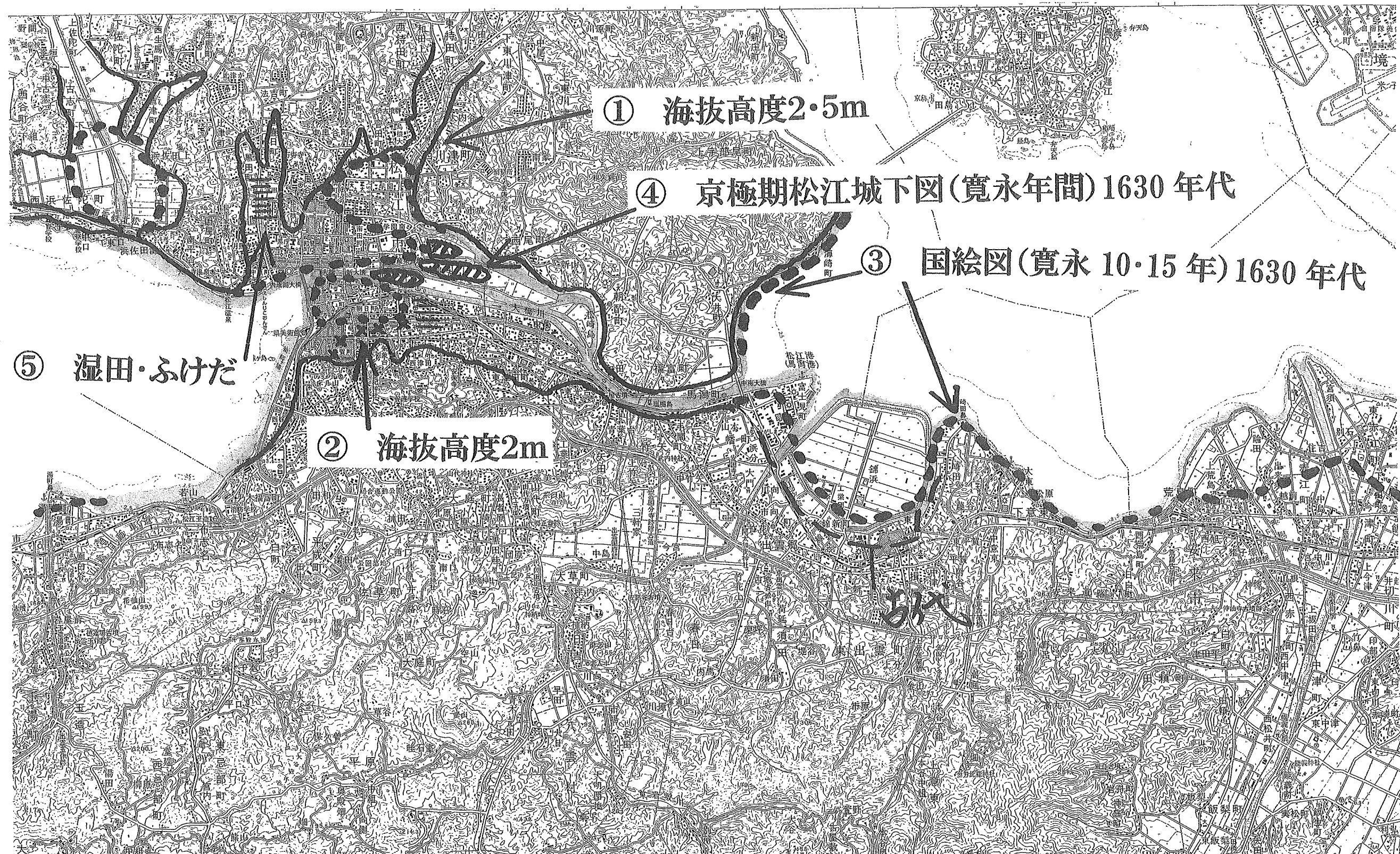
② その他は、植物の繁茂、汚泥の沈殿などゆっくりした変化

2、水辺の変貌は海拔4m以下ではないか

例：弥生時代の土器出土(大津本町、今市本町、小山、天神)

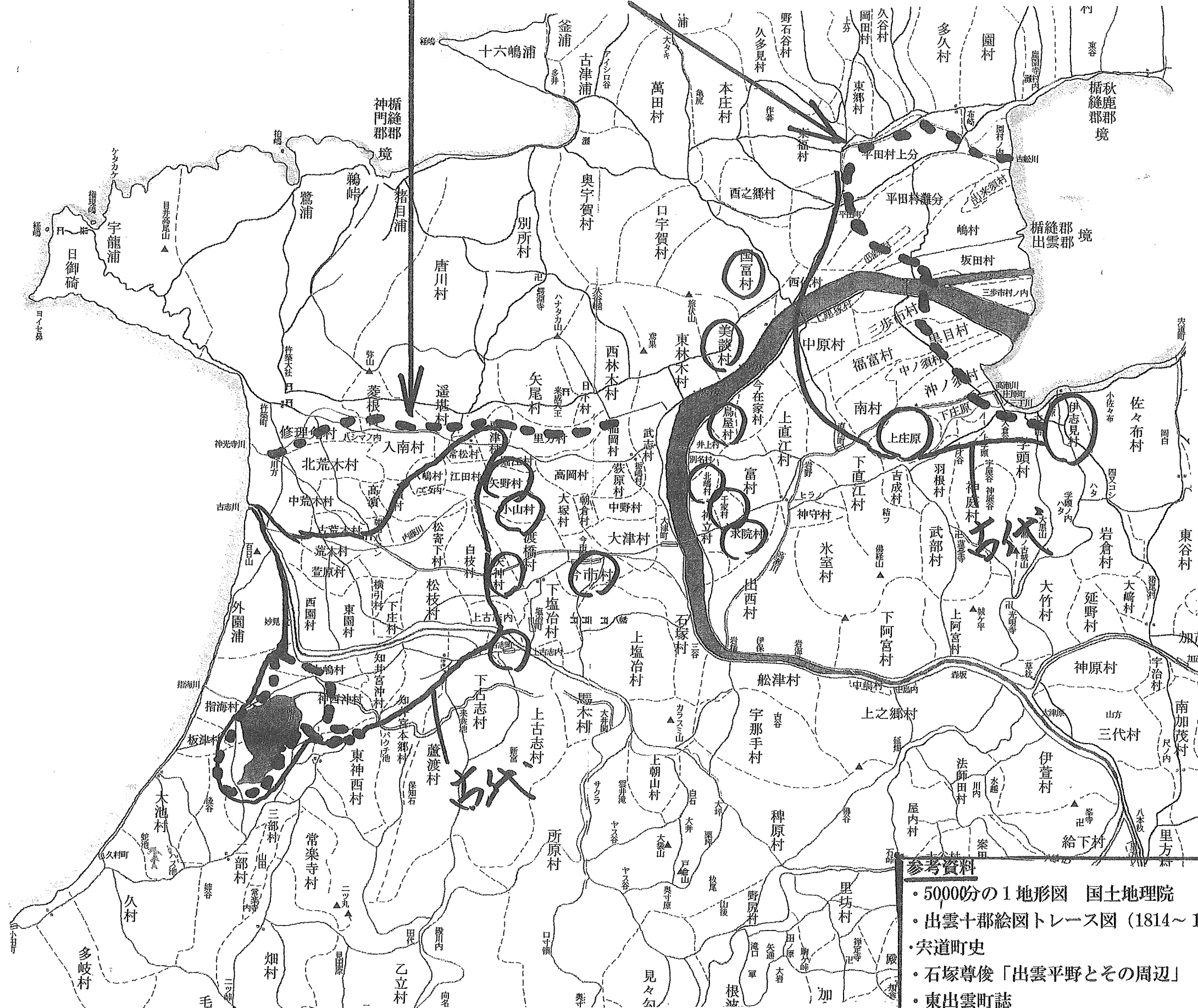
古墳時代、縄文時代は海拔10m以上

<松江周辺地域>



③ 国絵図(寛永 10・15 年)1630 年代

<出雲西部地域>



- 参考資料
- ・50000分の1 地形図 国土地理院
 - ・出雲十郡絵図トレース図 (1814~1818) 松江市史絵図・地図編
 - ・宍道町史
 - ・石塚尊俊「出雲平野とその周辺」 ワン・ライン
 - ・東出雲町誌
 - ・斐伊川史 斐伊川史刊行会